



福祉だより 信州

社会福祉 HERO'S vol.04

防護服づくりで工賃を確保。
社福法人の連携によるNAGANOモデル。

詳しくは巻末をご覧ください。



特集

「学び続ける」地域を支える
ウィズコロナに向き合う
地域福祉コーディネーター

No.

778

2020 9月号

「学び続ける」地域を支える ウィズコロナに向き合う ～地域福祉コーディネーター～

人と人が直接つながりを持つのが困難な状況でも、ボランティア・地域活動を止めないために様々な人々が努力を続けています。ICTなどを使った新しい工夫や、新たに生まれた課題に対する取り組みも生まれています。新型コロナウイルス以降、私たちの生活様式が変わるように、ボランティア・地域活動も変化しつつありますが、地域の多様な出来事に対して住民同士が学び合い、対話し合い、主体的な活動につなぎながらよりよい地域を創りたいという想いはきっと変わらないはずです。

ウィズコロナの時代、地域のつながりを切らないための様々な取り組みとそれを下支えする地域福祉コーディネーターを紹介します。

地域の困りごとから発信 する様々な取り組み

思いやりつながる

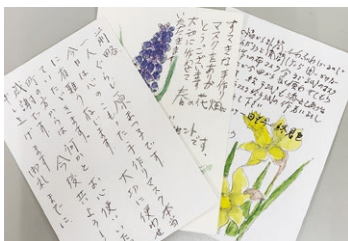
支え愛マスク（木曽町）

地域の方や手芸ボランティア・サロンに参加する方々が、手作りマスクを社協に寄付してくれたのをきっかけに、お一人暮らし高齢者にお届けしています。

本来なら、見守り・安否確認を兼ねて、社協職員や配達ボランティアが高齢者宅へお届けする際に直接手渡ししてお話を伺いたいと思っていました。感染拡大防止のためにポストへお届け（または郵送）しています。直接会ってお話することは叶わないので、心配な方へはお電話して安否確認したり、郵送したマスクに「不安や困ったこと、誰かと話したときにお電話ください」とメッセージも添えました。

マスクが届いた方からお礼の電話が来るので、様子を伺ったり感謝されていた様子を作り手のボランティアさんにお伝えしています。

自分では作れないけど布はあるので、作れる人に渡し



マスクを受け取った方がつくったお礼のお手紙



▶マスクに添える絵手紙を書いたボランティアさん



◀社協職員がマスクを手渡しして、作り手の想いも届けます

てほしいと布の寄付もありました。間接的ではありますが、社協が仲介となって住民の方々の思いやりが広がっていくと良いと感じています。

地域の課題を共有し 復興につながる実感（長野市）

昨年の台風で甚大な被害を受けた長野市でも新型コロナウイルス感染症の影響が、復興に向けた様々な取り組みの足かせになっています。



住民が課題を共有し、解決策を検討

農地もその一つ。今回の災害で農業を辞められた方々も一定数いる中、畑が管理できなくなり草が伸び放題の土地が多く、区長や組合、地元ボランティアで何度も打ち合わせ、地区や住民が共通の課題を意識し、解決策を話し合い、協働して取り組んでいます。

※詳細は「りんご通信」（本号4頁）に掲載。

地域の出来事を共有することので得られる学び

紹介した取り組みには地域の学びのヒントが隠れています。

木曾町では地域の皆さんの何かしたいという想いを社協の既存の活動と併せながらお互いがつながっていることが実感できる取り組みになっています。

長野市での活動には、被災地からの復興に地域の皆さんが関わり、課題を共有する学びから主体的に課題解決に取り組む気持ちづくりにつながっています。

さらに本号の7頁（おらほの縁パワー活動）では、阿智村での住民との学びから生まれた「ねやねや亭」の取り組みを紹介しています。

この3つの取り組みに共通する点は①関わる地域の皆さんの力を信じて取り組んでいること②取り組みまでのプロセスに地域福祉コーディネーターが関わっていることが上げられます。

地域の出来事や取り組みからどんな変化が生まれているのかを地域と共有することが大きな「学び」の機会となり、こうした機会を丁寧に行けることも地域福祉コーディネーターとして大切な役割です。

いまできるボランティア・地域活動

コロナ禍でも参加できるボランティア・地域活動などを紹介します。

■地域まるごとキャンパス

https://peraichi.com/landing_pages/view/marugotocampus



学生の学び・体験・参加を応援するプロジェクト。活動者や地域団体と地域課題解決に向けて活動していきます。
[問合せ]長野市市民協働サポートセンター
(026-223-0051 / npo@nagano-shimin.net)

■未来のゆたかなつながりアクション

<https://tunagari-action.jp/>



新型コロナウイルス下での「つながり」をあきらめない地域福祉・ボランティア活動交流サイト。
[問合せ]<https://tunagari-action.jp/contact/>

■今できるボランティア情報局

<http://www.nsyakyo.or.jp/post-23.php>



地域住民と一緒にコロナと向き合いながら県内各地での活動を紹介。
[問合せ]長野県社協まちづくりボランティアセンター
(026-226-1882 / vcenter@nsyakyo.or.jp)

地域と地域の学びを支えるコーディネーター

地域住民に寄り添い様々な相談を受け止める地域福祉コーディネーターを対象とした「地域福祉コーディネーター総合研修」の第1回を8月7日に開催。初のオンライン研修として実施しました。

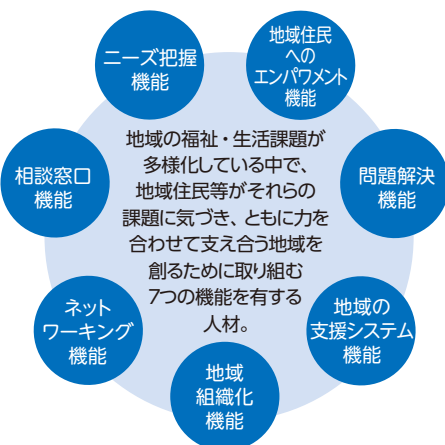


3会場をオンラインでつないで実施

コロナ禍の中で住民の皆さんとともに地域活動を進めるポイントについて、講師の市川一宏先生（ルーテル学院大学教授）より「靴に足を合わせるのではなく、足に靴を合わせる。コロナ禍においてもすでに地域にある活動を活かしながら、いまだに必要なものを考え、住民と学び合う場を設けることが地域福祉コーディネーターには大切。0（ゼロ）か100ではなく、1から99の可能性でできることを住民と一緒に考えよう」とメッセージをいただきました。

学び続ける地域をともに創る

参加者は「この状況で地域福祉コーディネーターとして」



地域福祉コーディネーターとは？

コーディネーターの活動の意義を余計に感じる「一緒に頑張れる仲間ができた」「地域が主体になり『やってみたい』と思えるように関わりたい」など初めてのオンライン研修開催の中で講義の意図を感じていただけました。

新型コロナウイルスはこれまで積み上げてきた地域と人のつながりに大きな問いを投げかけています。

この問いかけに諦めるのではなく地域との対話を通じて、学びと実践の機会を創る現場の地域福祉コーディネーターに期待しています。



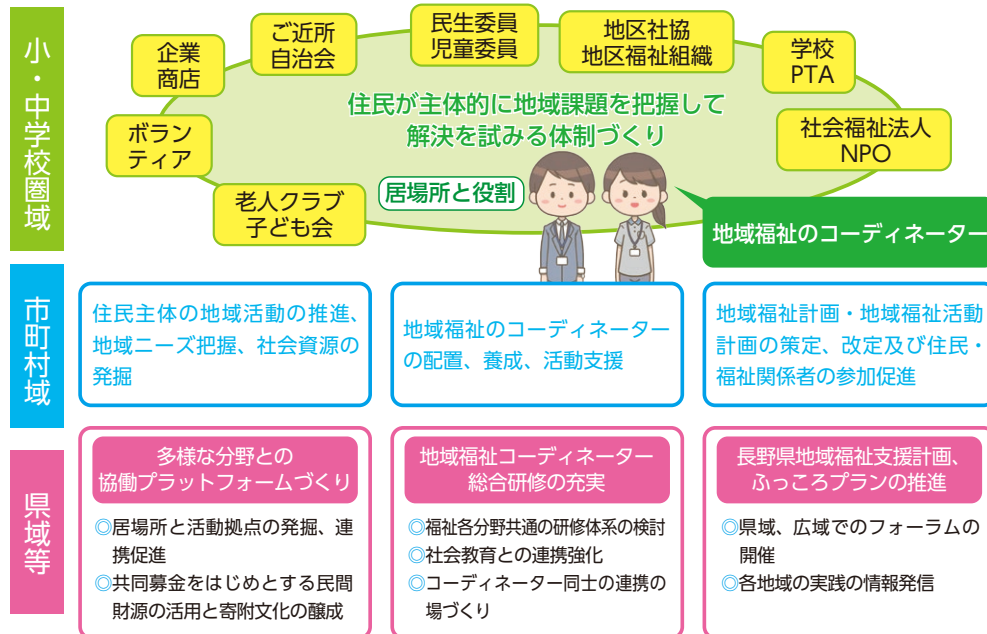
オンラインで参加者にエールを送る市川一宏教授（ルーテル学院大学）

私たちの使命II「ともに創る」を実践する

実践目標③「身近な地域で共生社会の実現を目指して」

一人ひとりの個性を尊重する居場所づくりと、誰もが活躍できる役割づくりをご近所福祉で実践します。

取組イメージ



地域住民は大きな力をもっています。そして、その力を引き出し下支えする地域福祉コーディネーターの役割がますます重要になっていきます。

りんご通信

令和元年東日本台風災害 復興の取り組み

共有地草刈りボランティア活動 (千曲川広域支援サテライト)

8月8日、9日の両日、長野市長沼地区津野区の共有地で、初日は社会福祉法人から3名、2日目は市内の企業やパルセイロ等から13名が参加し、草刈りボランティア活動を行いました。

津野区は昨年の台風で大きな被害に見舞われ、このことをきっかけに農業を辞められた方々も多くいます。また、畑が管理できなくなり草が伸び放題の土地も多く、住民から困っていると声が挙がる一方、地元の共有地組合だけでは管理が難しくなっていました。

そこで、区の役員や共有地組合、地元住民で結成した活動団体と打合せを重ねました。本来であれば、親族や農業公社等に依頼をしているところですが、頼るところが無く、緊急性の高い土地を選定し、今回は特別にボランティア活動で予定していた約1ヘクタールを刈り終えることができました。

ボランティアの力は強く、今回は本当に助かりましたが、まだまだ、草刈りが必要な土地は多く、全てをボランティア活動で行うことはできません。今回のように地区や住民が共通の課題を意識し、各地区で解決策を話し合い、地区で協力して足りない部分を継続的に担える仕組みづくりが重要だと感じました。



共有地組合員が刈払機の操作の注意点を伝えている。



約3メートルの草を刈っている。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社) TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
 損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK19-12918 2020.2.10作成)

令和2年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補基本	1~50名	35,000~61,460円
備A型	51~100名	68,270~97,000円
付見	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
補舞	基本補償(A型)	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
償用	保険料	

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社) TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
 損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJK19-14131 2020.2.7作成)

介護支援専門員実務研修が始まりました。

ケアマネ研修情報センター

介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取得するには、都道府県が実施する介護支援専門員実務研修受講試験に合格した後、所定の研修を修了し登録申請する必要があります。資格証が交付されると、介護支援専門員として勤務が可能になります。

第22回介護支援専門員実務研修受講試験（令和2年3月8日実施）の合格者150名に対する実務研修（前期課程）が7月1日から始まりました。9月以降の後期課程の研修は、今般の感染症拡大に鑑み、受講方法をオンライン方式に代替して実施します。（長野県指定研修実施機関＝長野県社会福祉協議会）



介護支援員の登録者数
13,805 人
うち有効資格者数
6,784 人

（令和2年8月7日時点 / 長野県）

※介護支援専門員証の更新のためには、
所定の更新研修を修了する必要があります。

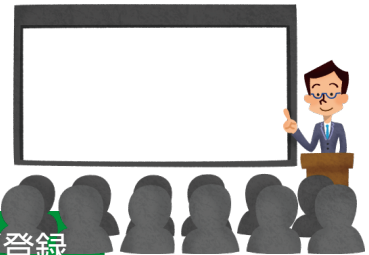
介護支援専門員証交付
（有効期間：5年間）

介護支援専門員登録簿／登録
（研修修了後3か月以内に申請）

介護支援専門員実務研修の受講
（受講時間：87時間以上）

【試験合格者】

介護支援専門員実務研修受講試験



地域共生社会を見据えたケアマネジメント

高齢の親と無職独身の50代の子が同居する「8050」や、介護と育児に同時に直面する「ダブルケア」など、介護に併せて多様な生活課題が混在しています。

研修では、医療・介護の連携や介護を行う家族に対する支援に加え、地域共生社会への対応を見据えたケアマネジャーの資質向上を目指します。

地域づくりとケアマネジャー



小林広美 氏（特定非営利活動法人長野県介護支援専門員協会会長）

要介護（支援）状態になっても、住み慣れた地域で自分の力を行使しながら生活できるように、地域づくりも含めた支援ができる介護支援専門員となり、各地域で活躍してほしいと願っています。

第23回（令和2年度）長野県介護支援専門員実務研修受講試験

（試験日：令和2年10月11日（日）実施予定）

お問合せ先：長野県社会福祉協議会ケアマネ研修情報センター（TEL 026-226-2000）



住民力を引き出すための「学習活動」とは？

～阿智村「ねやねや亭」から学ぶ～

下伊那郡阿智村駒場地区でこども食堂「ねやねや亭」が始まったのは2018年8月。「ご飯を食べながら、いろんな世代が交流できるみんなの居場所をつくろう」と住民が立ち上がり、活動をスタートしました。

はじめは住民の学習活動から

2017年5月に同村内で開催された「あち自由大学」で、7家庭に1家庭が貧困であることを学んだ参加者同士が「阿智村にも全国・都市部と変わらない問題がある」「このまま放っておいてもいいのか?」「なんとかして負のサイクルを断ち切りたい」という思いを共有し、引き続き学習活動を進めました。その結果、村づくり委員会制度(住民活動を支援する村事業)を利用し「こども応援隊」を立ち上げ、できることから実行しようと、こども・親・高齢者だれでも気軽に来れる食堂を目標に、中学校の制服リユースと併せてこども食堂に取り組むこととなりました。

こども食堂「ねやねや亭」オープン!



こども大人もみんなでねやねやして過ごします

「ねやねや亭」と命名されたこのこども食堂、中心スタッフの芹澤恵美さんが運営するゲストハウス「みんなのいえ」を活用し、毎月1回開くこととしました。「ねやねや」とは下伊那地域の方言で、人が一箇所に集まる様子を指します。ここには村内外のこどもも大人も毎回誰彼なく集まり、宿題をしたり遊んだり、温かいご飯を食べながら大家族のような時間を過ごしています。「こども応援隊」代表の林茂伸さんは「こどもがたくさん集まり、『ねやねやしてほしい』との思いで命名したが、その中で貧困家庭の子も気楽に参加し、自由に過ごせるようにしたい」と話します。2019年4月からは月にもう1回開催を増やし、また同年6月からは阿智高校ボランティア部の生徒が運営に関わっています。また個人ボランティアの関わり、企業による食材提供や活動資金補助の申し出など、着実に活動が広がっています。

「住民は自ら動く」それをどう引き出すか?

「ねやねや亭」立ち上げの原動力となったのが「住民の自発性」、そして行政等の支援体制です。なぜ住民は自発的に動いたのか?林さんは「(コーディネーターが)住民に寄り添い、地域課題を明らかにした上で整理し、見通しを説明すれば、住民は自発的に動き出すよ」と、明快に話しています。



今年1月には「大道芸人オマールえび」さんも参加し、大変盛り上がりました

「学びの場」が住民自治の根本

飯田下伊那地域はかつて「下伊那ターゼ」を生み出し、住民の学習活動を地域づくりの核に据えるなど公民館活動が盛ん。阿智村でも「社会教育研究集会(社教研)」などの場で住民自身が学んで活動を起こし、それを行政・社協等が後方支援しています。阿智村社協も社教研の分科会に携わり、誰でも悩み事や困り事を話せる場(はぐカフェ)が立ち上がった例もあります。村内バス路線や交通弱者問題を考える住民学習会では、社協が地域のサロンや戸別訪問で当事者から聞き取った生の声を伝え、学びの深化に貢献しました。ねやねや亭の事例も、学びの場が住民自治の根本であることを示しています。



社教研には村社協も携わっていますが、社協の名札を外し、ひとりの地域住民として積極参加する職員も多い

◀阿智村の実践については「自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村」(自治体研究社発行)もご参照を

お問い合わせ先 あちサポートネットワーク こども応援隊 TEL.0265-49-8401 <https://www.facebook.com/achisapo/>



福祉の現場で活躍する
ヒーローたちをご紹介します。



社会福祉法人信濃福祉施設協会
就労継続支援B型事業所 あんどわーく(長野市)
左から 清水ちか子さん、柳澤 真さん、荒井早智さん



webでも
ご覧になれます



作業中は集中力が上がります。



開所から4年目。メンバーさんが一歩一歩前に進めるよう寄り添っていきます。



共同で作業する場面も多いです。



一緒に作業をしながら、不安や心配なこと
に気をかけます。

今 回は、災福ネット(長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会)等が実施する、新型コロナウイルス感染症予防用の防護服の確保を、障がい者就労支援事業所の仕事づくりにつなげた「防護服製作プロジェクト」に参加している、就労継続支援B型事業所あんどわーく所長の清水ちか子さんにお話を伺いました。

Q この4、5か月間、コロナ禍による影響はいかがでしたか。

A 一番はメンバーさんの精神的な不安定さが目立ちました。「緊急事態宣言って何？」とか、「いつ終わるの？」といった社会状況の変化に対する質問が多くありました。丁寧に説明するなど、その都度相談支援をして対応してきました。

Q 実際の作業には影響はありましたか。

A 昨年比べて、メンバーさんの稼働率は上がりましたが、作業量は間接的にコロナ禍の影響を受けて、封入・封かんの作業予定がなくなったり、受注先のイベント中止により梱包作業がなくなったりと、仕事そのものが減ってしまい、メンバーさんのシフトへそのまま影響しました。

Q 今回、防護服製作プロジェクトに参加してはいかがでしたか。

A このお仕事自体、今までやっていたような作業ではなく新しいチャレンジとなりました。事業所としてもいろんな仕事に取り組みことで、作業の幅やスキルが上がるチャンスだったと思います。メンバーの中には、この作業自体を気に入って、集中して取り組むようになった方もいます。事業所としても、日々タツツが悪戦苦闘しながら作業工程がスムーズにできるように考えたりと、全員で毎日進化の日々です。

Q このプロジェクトは、あんどわーくさんにとつてどんな意味がありましたか。

A コロナ禍の中で事業所として何ができるのか、常に問いがあります。この作業を始めてみて、メンバーさんも役に立っているとか、社会貢献としていいことをしていると感じてくれていて、全体としても有用感が上がったという雰囲気を感じ、良い経験ができたと思います。

●ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nshakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べんり帖



長野県福祉研修実施団体 きやりあねっと

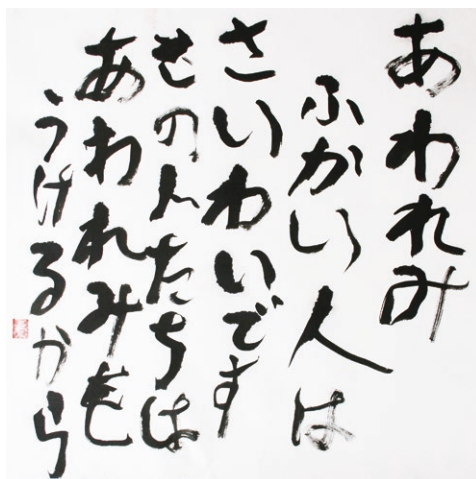
信州福祉・介護のひろば



ざわめくアート

『聖句』

作者:M(ペンネーム) 50代男性 北安曇郡在住



Mさんは長い間心の中を吹き荒れる嵐に翻弄され、入退院を繰り返し苦勞されてきた。住所地にある地域活動支援センターへ調子が良ければ通ってくる。月に一回のアート活動の墨遊びで、いつも持ち歩いている聖書の中から、山上の垂訓という有名なキリストの言葉の中の『あわれみふかい人はさいわいです。そのひとはあわれみをうけるから』と書いていただいた。この言葉の意味よりもそれをきっかけに冗談を言い合い、日頃の生活を笑いあいながら語り合う、そのことが素敵だ。重い障害ゆえたどたく語り、又筆を持つ手も震えてしまう。書き終わったMさんはとても満足そうだ。

墨のたどたくしく震える墨痕の線に、Mさんのこれまでの苦勞の人生が表れているかのようだ。そしてよれよれになった聖書はMさんの心のよりどころなのだ、と思う。

(ながのアートミーティング 取材)